

外科



外科部長
佐山 淳造

診療内容と実績

■甲状腺副甲状腺外科

昨年度は259例の甲状腺手術(うち癌133例)、58例のパセドウ手術を実施しました。パセドウ病のアイソトープ治療も100件以上手がけています。

■食道・消化器外科

昨年度は3例の食道癌手術を実施しています。近年、食道癌の化学・放射線療法も効果が認められており、当院ではインフォームドコンセントのもとに実施しています。

ほかに、胃・十二指腸手術46例、結腸直腸手術98例、虫垂炎139例、その他肝・胆道手術27例、胆石手術133例や、外傷及び腹膜炎など多くの消化器手術も実施しています。

また、胃癌、大腸癌の半数以上を腹腔鏡下手術で行っています。

■乳腺外科

昨年度は164例の初回乳癌手術を実施しました。うち乳房温存手術は129例であり、その比率は年々高まる傾向にあります。

当院には放射線治療設備が整っており、術後放射線治療も含め一貫した乳房温存治療が可能です。

■血管外科

昨年度も多くの血管外科手術を実施し、うち大動脈瘤手術は32例です。その他、下肢静脈瘤、血栓摘除術、内シャント造設術なども実施しています。

また、救急の動脈瘤破裂や外傷性血管損傷の手術も実施しています。腹部大動脈瘤に対するステント留置術も導入しました。

プログラムの目的と特徴

消化器、血管、乳腺、内分泌の各分野のエキスパートによる指導、教育を受けられ、広い領域にわたる一般的診療を習得できます。

また、救命救急センターでの診療を通して、救急患者の診断・治療法を体得できます。

研修内容と到達目標

■短期研修

一般臨床医として必要な外科の手技や外科に関する基礎知識の習得を目標とする。

- ・周術期の全身管理、重症外傷、熱傷患者などの治療を通じて重症症例の全身管理法を習得する
- ・虫垂炎、鼠径ヘルニア、外来小手術などの術者を経験する

■1年研修

一般外科で扱うほとんどの疾患についてその診断治療法を習得し、一般外科医に求められる基礎的能力の獲得を目標とする。

- ・病棟で担当患者を統括管理し、検査・処置などについて初期研修医を指導する
- ・主な消化器疾患、乳癌、内分泌疾患などの術者を経験する
- ・各種疾患の超音波診断やマンモグラフィーの読影法を習得する
- ・マンモグラフィー読影については学会の読影資格取得を目指す
- ・外科学会専門医習得に備える
- ・地方会および全国規模学会での発表を行い、論文発表も併せて行う

■2年研修

1年研修の内容に加え、さらに踏み込んだ臨床修練を行い、スタッフに準じた診療レベルの獲得を目標とする。